

挑戦心をくすぐる授業の展開

奥田阿子・長崎大学言語教育研究センター

キーワード: 反転授業、アクティブラーニング、挑戦心、振り返り

実践内容

科目: 英語(教養教育)
対象: 医学部医学科2年生
授業目的と達成目標:

専門教育で必要となるプレゼンテーションスキルと英語の医学論文の読解力を高めるために、プレゼンテーションに必要な表現や医学単語を身につける。英語を用いて情報収集したものに対して正確に理解し、論理的に組み立てて、相手に説明できるようになること。

授業内容:

ハーバード大学のキャンパスツアーの様子や医学分野に携わる教員、研究者にインタビューを行ったビデオを視聴し、海外の大学やそこで行われている研究について興味と関心を喚起させるような内容にしている。

回数	内容
3・4回	キャンパスツアーの動画に加え、インターネットから大学の歴史、研究内容について各自で調べ、情報収集を行う。
5・6・7回	各自が収集した情報をグループでまとめ、発表する。
8回	教員、他者からのフィードバックと振り返りを行う。
9・10回	教員、研究者の動画に加え、インタビュアー達が所属する研究所やそこでやっている研究についてグループで情報収集を行い、まとめる。
11・12回	インタビュアーの一人が執筆した医学論文を研究目的、研究方法、研究結果に着目して読み解き、研究の意義をグループで考える。
13・14回	9回～12回で得られた情報や知識をグループでまとめ、発表する。
15回	教員、他者からのフィードバックと振り返りを行う。

深い学びを促す工夫

反転授業を取り入れる

- 予習をする環境を整えられる。
- 動画をみて事前に学習するため、内容を理解するまで繰り返し学習ができる。
- 次回の授業内容を予測できる。

アクティブラーニングを取り入れる

- 授業への積極的参加を促せる。
- 学習内容の定着を図る。
- 他者の視点／考え方を知ることができる。
- 他者と協力し、学ぶことができる。

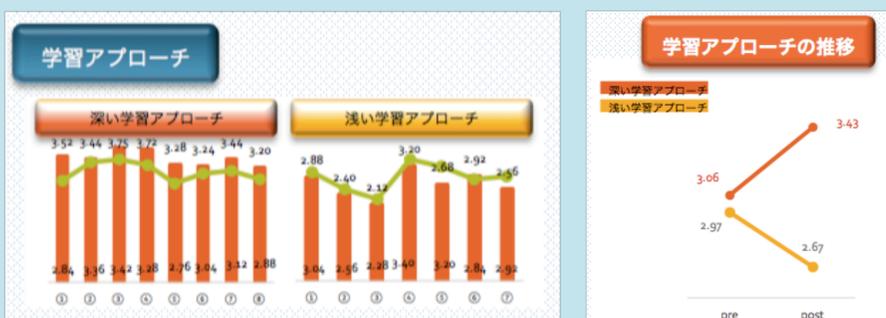
挑戦心をくすぐる

- 海外の大学のサイトにアクセスし、必要な情報の収集に挑戦する。
- 英語でのプレゼンテーションに挑戦する。
- 英語の動画をみて、研究内容の聞き取りに挑戦する。
- 英語で書かれた医学論文の読解に挑戦する。

振り返りを行う

- 毎回の授業の最後に学んだこと、感じたこと、疑問に思ったことを振り返る時間を設け、振り返りシートに記入する。
- 発表を行った際には必ず、他者からの評価シートとコメント、教員からの評価シートとコメントを返却し、グループでの振り返りと個人の振り返りを行う。

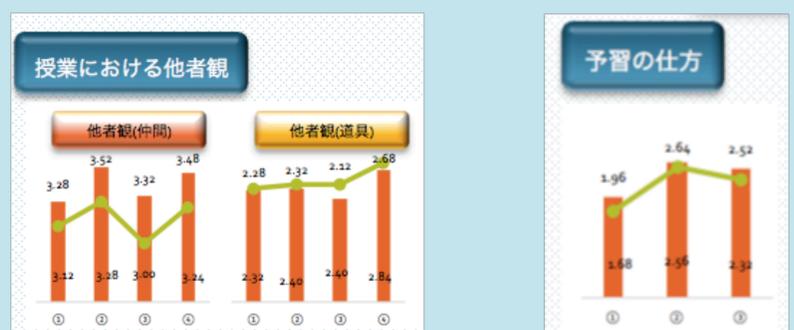
結果(1)



【実際の感想】

事前に学習を済ませることで授業内容が頭に入りやすかった。
反転授業の方が自発的に学べるので得る物が多いと思う。
課題の時に授業の内容がより深まった。
自分で内容を理解できるまで何度も聞けるので授業に参加しやすかった。
週一回の授業にしては質の高い内容を学べたのでよかったと思う。
次の授業で何をやるのかをはっきりと知ることが出来るので、興味の喚起に役に立つ。

結果(2)



【実際の感想】

授業ではグループワークがメインとなったので退屈しなかった。
友人と協力できた。
自発性に富み、時間の無駄がない点良かった。
自分が用意していた解答の正誤が気になることもあって、授業をさくようになったりグループでの作業に積極的に参加した。

今後の課題

学生から集めた授業のフィードバックから、「アドバイスなどがもう少しほしかった」、「予習の問題が難しかった時に授業についていけない」というコメントがあった。また、アンケート調査の結果からも学習の継続意思の得点は横ばいであった。このことから、学習の継続意欲を高めるためには、予習動画の解説を授業中に適宜行いながら授業外の学習をフォローすることが重要であると感じた。また、反転授業は、予習をしていることを前提としているため、していない学生がグループにいた場合は、グループでの作業に遅延が生じる恐れがある。予習をしてこなかった学生への対応策や予習が必須であると強く感じさせるような授業設計が必要であるように思う。